

かどの新たな地域づくり計画書

将来像

若いもんが、住み続けたいと思う
「か・ど・の！」



地域の活動拠点：かどの郷

平成28年3月16日

計画策定委員会

目 次

1 はじめに	．．．．． P1
○計画策定の背景と経緯	
2 現状と課題	
○現状について	
(1) 地域の状況	
(2) 現在の主な取り組み状況	
○課題について	
(1) 人口問題	
(2) インフラ整備・普及	
(3) 施設整備	
(4) その他	
3 将来像と基本方針	．．．．． P3
(1) 将来像	
(2) 基本方針	
(3) 事業展開	
葛野の課題と方針から、見えてくる考え方や事業	．．．．． P5
各部会別 事業計画	．．．．． P6
新たな地域づくり計画策定委員会会議日程記録	．．．．． P7
かどの新たな地域づくり推進組織図	．．．．． P8
【資料編】	
かどの新たな地域づくり計画 概要版	

1 はじめに

○計画策定の背景と経緯

少子高齢化が急激に進む現在、葛野地区においても同様の現象が進んでいます。また、人と人との繋がりが薄れ、コミュニケーションを図るのが難しくなっています。このような状況の中で、「若いもんが、住み続けたいと思う『か・ど・の！』」を将来像として、住民ひとり一人が自覚と責任を持って住みよい地域を創造するため、平成 23 年度に「葛野地区地域づくり計画書」を策定しました。そして「丹波市元気な地域づくり特別事業」交付金を活用しての、地域紹介のDVD作成、地域資源を活用した特産品の開発などの事業、さらに、平成 24 年度から兵庫県の「地域再生拠点等プロジェクト支援事業」補助金の採択を受け、社会福祉法人氷上町福祉会から無償譲渡を受けた旧葛野保育園跡地施設の改修工事を進め、平成 28 年 2 月に小規模通所介護施設を開設しました。

今後の地域づくりにおいては、無償譲渡を受けた旧葛野保育園跡地施設を「かどの元気広場」として位置づけ、有効活用を図り、葛野地区の農産物などを活かした特産品を加工から販売までの 6 次産業化、既設の交流会館かどのの郷の充実をもって、将来像達成を目指して取り組みます。

2 現状と課題

○現状について

(1)地域の状況

葛野地区は、11 集落が葛野川を挟んで点在しており、周辺を山野に囲まれた自然豊かな中山間地域です。市花であるカタクリの群生地、遊休地を利活用したコスモス園、栗の果樹園など観光資源が多く存在し、また、農産物販売や「たまごかけごはん」で人気のある「交流会館かどのの郷」は、地域のコミュニケーションの場となっています。

(2)現在の主な取り組み状況

葛野地区では、葛野報徳自治振興会を中心に、自治会や各種団体の参画により、前述の「葛野地区地域づくり計画書」に基づいて事業に取り組んでいます。

主な取り組みとしては

①「交流会館かどのの郷」の管理・運営

地域の活動拠点として農産物などの販売、貸館事業を展開

※平成 29 年度に丹波市から無償譲渡を受ける予定

②かどのの郷の冬まつりイベント

地域農産物の販売、焼きそばなどの屋台出店のほか、「ゆめ灯ろう」・「のど自慢大会」等を開催し、地域内外の人々の交流と憩いの場を提供する事業

③かどのふれあい交流広場

地域住民及び都市住民との交流を深めるため椎茸原木の植菌体験と栽培、

里山でのカブトムシの養殖や遊休地での貸農園の運営等、地域資源の活用を図る事業

④味工房葛野村

餅類の加工・販売ができる施設を整備し、イベントなどに出店参加したり、杵つき餅の体験実習や正月の餅を販売したりする事業

⑤ブランド工房

地域農産物などを活用した加工品の製造から販売までの6次産業化を目指し、特産品を開発する事業

⑥旧葛野保育園跡地施設の活用

社会福祉法人氷上町福祉会から無償譲渡を受けた旧葛野保育園跡地施設の一部を、小規模通所介護施設として整備し、運営については株式会社かどのに事業委託。また、介護施設以外の部分の地域交流拠点化を図る事業

○課題について

平成27年3月末の丹波市人口統計によると、葛野地区の高齢化率（65歳以上の人口比率）は30.5%であり、丹波市全体とほぼ同じとなっています。

また、人口推移は丹波市全体と同様に、少子化を要因として減少する傾向にあります。この様な状況から少子・高齢化による負の連鎖が加速される一方、人口減少とは関係なく社会インフラは一定の整備がなされ、清水坂トンネルなどの道路整備やネット社会の普及により、交通事故や高齢者詐欺なども増加すると考えられます。

この状況における葛野地区の主な課題と要因は

(1) 人口問題

①課題

- ・人口構成の一律な人口減少ではなく、高齢化と生産年齢層のアンバランスな人口減少により、高齢者を支えることが困難になる。
- ・小規模な自治会にあっては、単独の自治会組織運営ができなくなる。
- ・少子化による小学校の統廃合によって地域拠点の認識が低くなる。
- ・農業継承者や土地管理ができる者が少なくなり、耕作放棄地が増える。
- ・空き家が増える。（防火、防犯）
- ・高齢者世帯又は独居世帯が増加する。（孤独、安否不安）

②要因

- ・働く場所が少ないために若者が流出する。
- ・市中心部から離れているため、利便性（交通・買い物）が悪い。

(2) インフラ整備・普及

①課題

- ・道路が整備されることで交通量が増え、交通事故が増加する。

- ・高速道を含めた道路網の整備により、不審者や犯罪が増える。
- ・情報ネットの整備に伴い、ネット被害に巻き込まれる。

②要因

- ・豊かで便利な生活環境への整備意識が強い。
- ・ネットの利便性が高い。(普及)

(3) 施設整備

①課題

- ・高齢者・障害者に適応した施設・設備が整っていない。
- ・機器の老朽化により、使用不能に陥っている。

②要因

- ・施設創建時から年数が経過している。
- ・財政面から更新が遅れている。

(4) その他

①課題

- ・高齢者は閉じこもりがちになる。
- ・公共交通がない。

②要因

- ・ふれあいの場が少ない。
- ・自家用車所有率が高くなり、公共交通の利用者が少ない。

3 将来像と基本方針

(1) 将来像

地域住民が主体的に創造する。豊かな自然や農林業を活かし、地域内外の交流を通じ人と人の繋がりを強め、共助の精神が溢れる地域を目指すため、

“若いもんが、住み続けたいと思う「か・ど・の！」”

ゆめ十あそび十やりがい＝元気な「か・ど・の」

をキャッチフレーズとして、その達成に努めます。

(2) 基本方針

将来像（ビジョン）の実現に向け、必要な事業・課題解決策として次の3つを基本方針とします。

①若いもんの子どものために

- ・子どもは地域の宝です。若い世代の子育てを支援することにより若者世代の定住に繋がる事業
- ・その子どもが将来も住み続けたいと思うような事業
- ・子どもの感性を高め、思いやりなど豊かな心を育む事業

②若いもん・今の自分達のために

- ・若者が地域を愛し、誇りを持てる地域事業
- ・若者が地域資源を活用して地域外の人との交流を深め、楽しめる事業

③将来の高齢者は今の若いもん

- ・地域を出た方への情報発信や交流などにより、地域との繋がりを継続する事業
- ・高齢者が安心して、生きがいを持って暮らせる環境整備に係る事業
- ・世代で高齢者を支援する「繋がり」を構築する事業
- ・豊かな生まれ育った自然の中で、生活が継続できる楽しみと収入が得られる生計事業

(3) 事業展開

基本方針に基づく事業を展開します。組織体制を次の通り定めます。

①かどのの郷運営委員会

- ・活動拠点施設「交流会館かどのの郷」を中心にした地区外住民(主に都市部)との交流事業を、より効果的、効率的に推進します。

1) 交流事業の企画・発信・実施

2) 施設の老朽化対策、安心安全な設備補完を行い、効率化を図ります。

- ・組織体制は、自治会長4名、かどのの郷館長、副館長、葛野報徳自治振興会副会長、コミュニティ推進員(施設長)で構成します。

②施設活用部会

- ・「かどの元気広場」の施設を活用して、地区内住民の交流事業を推進します。

1) 施設整備と機材購入等(子ども専用トイレを一般用に改修、事務局体制整備のための備品購入)

2) 住民の居場所をめざし、イベントの企画実施やテナント誘致などを進めます。

- ・組織体制は、自治会長4名と葛野報徳自治振興会長並びに希望する地域住民及び団体で構成します。

③地域資源開発部会

- ・高齢者のやりがいや地区内雇用のための6次産業化を推進します。

1) 加工施設の運営体制づくりや、開発された特産品の販売促進を進めます。

2) 核となる安定収入を確保するため、宅配給食事業等の検討を進めます。

- ・組織体制は、自治会長3名、元気な地域づくり特別事業の地域資源開発部会に加入している製造部門のグループで構成します。

課題と将来像・基本方針、部会ごとの事業展開を重ね合わせ(P5)、取り組む事業の概略実施時期(P6)と、運営組織図(P7)に示します。

葛野の課題と方針から、見えてくる考え方や事業

葛野地区の課題	問題点と課題 方針キーワード	若いものの子どものために	若いもん自分達のために	将来の高齢者は今の若いもん	将来像
人口減少 働く場所が少ない 企業が少くない 雇用の確保 若い人の定住がない 若い者が出ていく 空き家の増加 耕作放棄地の増加 交通量が増え、事故が心配 小売店が少ない ふれあいの場が少ない 全体的に個人的な考え方が多い	【課題】 かどのの郷の維持・運営 【部会が考えた問題点】 ・拠点運営のための人材確保 ・設備機器の老朽化 ・来客の利便性 ・特産物販売スペースの充実 【全体討議からの問題点】 ・地元でどれだけ利用されているか ・運営費の確保 ・女性の参加がない ・イベント行事に無関心な人が多い ・活動の情報発信が必要 ・住民が活動内容を知らない(周知不足) ・野菜売り場の環境が悪い→生産者が離れる	考え方 安心安全な既設備の補完 地域内外の住民交流	施設運営の後継者育成と確保 設備機器の老朽化対策 地域内外の住民交流	安心安全な既設備の補完 地域内外の住民交流	若いもんが住み続けたいと思う「かどの！」 ゆめ+あそび+やりがい+元気なかどの
	【課題】 住民が気軽に集えるコミュニティ活動の拠点 【部会が考えた問題点】 ・保育園跡施設の有効活用 ・テナントなど施設の貸出 ・施設・機材の保守管理 ・広報活動 【全体討議からの問題点】 ・維持運営費の確保 ・運営方法 ・明確な運営ビジョン かどのの郷との区別化	事業 ①玄関厚の自動扉への改修 ④地区外都市部との交流事業(ドリームツアー他) ⑥かどのの郷冬まつり	②視察研修(後継者育成と運営) ③レンジ機、冷凍冷蔵庫の更新 ⑤受益者負担による貸館 ④地区外都市部との交流事業(ドリームツアー他) ⑥かどのの郷冬まつり	①玄関厚の自動扉への改修 ④地区外都市部との交流事業(ドリームツアー他) ⑥かどのの郷冬まつり	
	【課題】 製品化から販売までの自立した運営とその組織化 【部会が考えた問題点】 ・地域資源を生かした加工品の開発・販売 【全体討議からの問題点】 ・販売先が見つけにくい ・加工施設の場所が狭い ・調理の指導者がいない ・資金不足 ・メンバー集め ・商品開発のための設備・環境が整っていない ・収益が少ない ・生産体制の調整不備	考え方 食文化の伝承と子どもと高齢者(地域住民)のふれあい 地域内経済循環と販路開拓(ロコニミ)	加工グループと円滑な加工場運営の組織化 販売ルートの開発 施設活用部会と連携した情報発信 地域内経済循環と販路開拓(ロコニミ)	高齢者世帯への対応(安定した収入の確保) 地域内経済循環と販路開拓(ロコニミ)	
		事業 ⑮料理教室(子どもや保護者対象の山菜など旬を味わう つくだ煮、みそ漬け等) ⑩ふれあい夏まつり ⑥かどのの郷冬まつり	⑮必要に応じて視察研修(加工場運営・販売ルート等) ⑦フリーズドライ化の試作 ⑮防塵壁工事、保育園跡施設移転 ⑩ふれあい夏まつり ⑥かどのの郷冬まつり	⑮宅配給食事業 ⑩ふれあい夏まつり ⑥かどのの郷冬まつり	

各部会別 事業計画

担当部会	事業名	前期	中期	後期
かどの郷 運営委員会	① 玄関扉の自動扉への改修、レジ機、冷凍冷蔵庫の更新 ③	◆自動扉 レジ機、冷凍冷蔵庫		
	② 視察研修(後継者育成と運営)	→		
	④ 地区外都市部との交流事業(既存事業:ドリムツア一他)	毎年内容の見直し等しながら進める		
	その他 施設改修		◆費用対効果、財源等検討し、必要に応じ進める	
施設活用 部会	⑦ コミュニティカフェの実施	企画立案 → 定期実施をめざす		
	⑨ 施設・機材の改修・購入(事務局体制の整備)	企画立案 →		◆
	⑧ 広報活動(かどの郷かわら版と調整)	かどの郷と調整のうえ、前期中盤から本格実施		
	⑪ 消火・防災訓練、ゴミ分別、減量化、不法投棄防止運動	企画立案	各自治会へ提案しながら事業実施	
	⑫ 子どもを中心にした交流事業 (既存事業:かどのふれあい教室・小学校クラブ活動・人権総合学習等)	事業主体を明確にし、必要に応じ自治振興会事業として実施		
	⑬ 環境バスツアー	前記中盤まで、従来通りかどの郷事業で実施、事業の見直しや廃止も含め検討		
	⑭ 葛野地区住民対象の交流事業(かどの郷、スポーツクラブ等と調整) (既存事業:太極拳教室)	太極拳だけでなく、生涯学習・スポーツ関係の教室事業を企画実施する		
地域資源 開発部会	⑮ 山菜など旬を味わう、惣菜と菓子製造販売、料理教室	企画立案		
	⑯ 必要に応じて視察研修(加工場運営・販売ルート等)	→		
	⑰ ブルーベリー加工販売、製粉加工	◆企画立案		
	⑱ 防塵壁工事、かどの元気広場への施設移転	移転		
共 通	⑲ 宅配給食事業	◆企画立案		
	⑤ 受益者負担による貸館	企画立案 →		
	⑥ かどの郷冬まつり、ふれあい夏まつり ⑩	事業の実施主体や内容を検討しながら進める		
	事業、運営組織等計画の見直し	随時見直しは可能(ただし、前期・中期・後期の各期末には必ず実施する)		

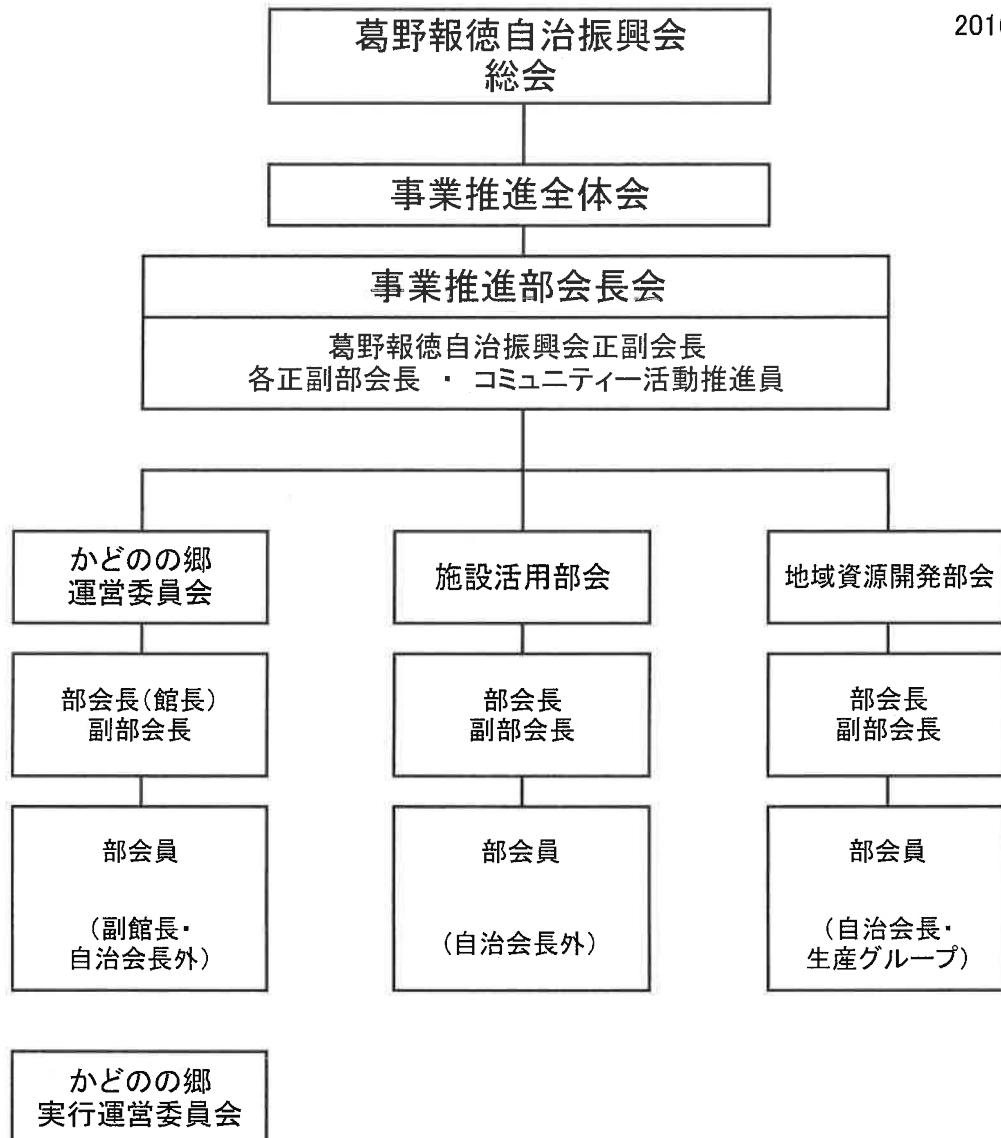
※各事業とも、費用対効果や財源等検討しながら進めるものから進めます。

新たな地域づくり計画策定委員会会議日程記録

日時	会議名称及び会議内容	出席者	会議場所
9月26日 (土) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる準備会 ○地域づくり計画策定・見直しについて ○策定に係わる概要説明 ○策定にかかわる質疑・確認	安達振興会長・坂上委員 長・山口推進員・二森館 長・采女副館長・氷上支 所長他	かどのの郷
10月20日 (火) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる準備会 ○元気な地域づくり事業の計画見直し(プレゼン) ○新たな地域づくり交付金制度(案)の事業説明 ○課題を解決するための現計画の見直し策定推進体制 ○課題を解決するための現計画の見直し策定作業部会	臨時葛野地区自治会長会	かどのの郷
10月28日 (水) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる準備会 ○課題を解決するための現計画の見直し策定推進体制の確認 ○計画策定に係る手法について ・手順・手法・期間等について説明	安達振興会長・坂上委員 長・二森副委員長・三方 副委員長・元気な地域づ くり各部会正副会長・氷 上支所長他	かどのの郷
11月19日 (木) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる全体会 ○地域づくり策定計画・見直し(プレゼン) ○新たな地域づくり交付金制度の事業趣旨説明 ○新たな地域づくり策定計画部長・副部長の選出 ○各事業内容設定・事業計画作成	新たな地域づくり推進体 制組織の委員全員・氷上 支所長他	かどのの郷
11月30日 (月) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わるかどのの郷運営委員会 ○かどのの郷運営委員会計画策定 ○かどのの郷運営委員会の概算計画	新たな地域づくり推進体 制かどのの郷運営委員 会	かどのの郷
12月3日 (木) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる施設活用部会 ○施設活用部会の計画策定 ○施設活用部会の概算計画	新たな地域づくり推進体 制施設活用部会各委員	かどのの郷
12月2日 (水) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わるかどのの郷運営委員会 ○かどのの郷運営委員会計画策定 ○かどのの郷運営委員会の概算計画	新たな地域づくり推進体 制かどのの郷運営委員 会	かどのの郷
12月7日 (月) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる地域資源開発部会 ○地域資源開発部会計画策定 ○地域資源開発部会概算計画	新たな地域づくり推進体 制地域資源開発部会	かどのの郷
12月28日 (月) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる第1回正副部会長会 ○かどのの郷運営委員会から提案 ○各委員会・部会での協議内容報告 ・事業内容、計画について	新たな地域づくり推進体 制組織の各部会正副部 会長氷上支所長他	かどのの郷
1月12日 (火) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる全体会 ○12月28日の役員会の報告 ・将来像は「元気な地域づくり特別事業」のテーマを踏襲 ・基本方針は「元気な地域づくり特別事業」の方針を踏襲 ○課題及び問題点を各部会から提案	新たな地域づくり推進体 制組織の委員全員・氷上 支所長他	かどのの郷
1月28日 (木) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる第2回正副部会長会 ○全体会の意見集約 ○各委員会・部会の計画について協議	新たな地域づくり推進体 制組織の各部会正副部 会長氷上支所長他	かどのの郷
2月8日 (月) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる第3回正副部会長会 ○各委員会・部会から提出された事項について協議 ○計画策定概要版について	新たな地域づくり推進体 制組織の各部会正副部 会長氷上支所長他	かどのの郷
2月19日 (金) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる第4回正副部会長会 ○課題と見直し報告書について協議 ○地域づくり計画策定概要版について	新たな地域づくり推進体 制組織の各部会正副部 会長氷上支所長他	かどのの郷
3月11日 (金) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる第5回正副部会長会 ○全体会報告書の確認	新たな地域づくり推進体 制組織の各部会正副部 会長氷上支所長他	かどのの郷
3月16日 (金) 19時30分	新たな地域づくり計画策定委員会に係わる全体会 ○新たな地域づくり計画策定委員会報告書について	新たな地域づくり推進体 制組織の委員全員・氷上 支所長他	かどのの郷

かどの新たな地域づくり推進組織図

2016.3.16



かどの新たな地域づくり計画 概要版

平成 23 年度丹波市元気な地域づくり特別事業開始時に策定しました地域づくり計画について、同事業終了に伴い地域づくり計画の見直しを進めてきました。平成 28 年度葛野報徳自治振興会総会で、同案が承認され、概要版として葛野地区のみなさんへお知らせいたします。

将来像は？……変更せず

若いもんが、住み続けたいと思う「か・ど・の！」

ゆめ+あそび+やいかい=元気な「か・ど・の！」

新たな課題と基本方針は？

新たな課題・問題点(主なもの)

- ▲働く場所が少なく、若い人の定住が減っている
- ▲ふれあいの場が少ない
- ▲交流会館「かどのの郷」の円滑な経営と施設の充実
- ▲地区住民交流拠点「かどの元気広場」(旧葛野保育園)の整備と有効活用
- ▲農産物を活かした特産品の開発～加工～販売の組織化と6次産業化

基本方針(変更せず)

●若いもんの子どものために

子どもは地域の宝、子どもたちが将来も住み続けたいと思うような活動の展開

●若いもん自分達のために

都市との交流や世代間のつながりを大切に、魅力的で継続できる事業の展開

●将来の高齢者は今の若いもん

現在の高齢者を含めて、晩年の大切な時期を豊かに暮らせるシステムづくりの構築

取り組む事業イメージは？

かどのの郷

老朽機器の更新
安心安全な設備への補完
地区内外の住民交流事業

かどの元気広場

振興会事務局体制の整備
世代間の触れ合い場づくり
必要設備の購入・改修

農産物の6次産業化

組織化と円滑な運営

施設整備と移転、視察研修
料理教室や宅配給食

事業の推進体制は？

葛野報徳自治振興会

かどのの郷運営委員会

かどのの郷館長、施設長、振興会副会長、自治会長など9名

施設活用部会

有志地区住民、自治会長、自治振興会長など12名

地域資源開発部会

自治会長、5製造グループなど23名

みんなで創ろう！楽しく住みよい かどの地区

「かどの」新たな地域づくり計画策定委員会

発行 「かどの」新たな地域づくり計画策定委員会

〒669-3613

丹波市氷上町上新庄445-4（交流会館「かどのの郷」内）

TEL : 0795-82-4224

FAX : 0795-82-4124

e-mail : kadononosato@heart.ocn.ne.jp